

2018年3月

## 会 告

### 2018年 結核・抗酸菌症 認定医/指導医 資格申請手続きのお知らせ

一般社団法人日本結核病学会  
認定制度審議委員会

結核・抗酸菌症 認定医/指導医 資格取得希望者は、2018年9月30日までに申請をお願いします。

1. 受付期間：2018年5月1日～2018年9月30日（消印有効）
2. 応募資格
  - (1) 認定医
    - 1) 本学会の会員であること
    - 2) 医師歴が2年以上の医師で、結核・抗酸菌症診療について研鑽を積もうとする者
    - 3) 過去5年以内の審議会が指定したセミナー等に参加し、所定単位50点を取得した者
  - (2) 指導医
    - 1) 会員歴：申請時まで継続して5年以上（2014年2月以前に入会）
    - 2) 認定医歴2年以上の医師（認定医番号121001～161999）
    - 3) 過去5年以内に、審議会が指定したセミナー等に参加し、所定単位80点を取得した者。  
ただし、生涯教育セミナーについては認定医に認定された後に受講したものを単位として認める。
    - 4) 学会誌「結核」に、結核・抗酸菌症に関する論文（原著・総説・症例報告等）、または日本結核病学会（総会・支部会）における発表を3篇（題）以上（うち1篇は筆頭著者（演者）とする）
    - 5) 次のいずれかを満たす者
      - ① 結核・抗酸菌症10症例以上を診療し、所属施設長が承認した者
      - ② ICDの資格を持ち結核院内感染対策に従事し、所属施設長が承認した者
      - ③ 保健所（保健所に準ずる行政機関等を含む）勤務歴3年以上、かつ結核等感染症対策に関与している者

#### 【お問合せ先】

一般社団法人日本結核病学会 事務局

TEL：03-6721-9983 FAX：03-6721-9986

E-mail：nintei@kekaku.gr.jp

日本結核病学会 結核・抗酸菌症 認定医 資格申請手続き

◇受付期間：2018年5月1日～2018年9月30日（消印有効）

◇応募資格

- 1) 本学会の会員であること
- 2) 医師歴が2年以上の医師で、結核・抗酸菌症診療について研鑽を積もうとする者
- 3) 過去5年以内の審議会が指定したセミナー等に参加し、所定単位50点を取得した者

◇提出書類

- 1) 「認定医新規申請書」(本人印を捺印)
- 2) 「医師免許証」のコピー
  - ・医師歴2年以上
- 3) 「単位取得証明書」(2014年3月1日以降の単位が有効)
  - ・所定単位数：認定医50点
  - ・所定単位のうち、対象項目(1)、または(5)の認定制度審議会指定プログラム、いずれかの出席が必須となっています
- 4) 申請料(10,000円)：振込受領書のコピーを添付(本人名義でお振込み下さい)
  - ・郵便振替：00180-0-608172 一般社団法人日本結核病学会
  - ・銀行口座：三井住友銀行 小石川支店 普通 3704607 日本結核病学会認定制度  
「ニホンケツカクビヨウガツカイ」(すべて大文字)

◇送付先

〒108-0074 東京都港区高輪4-11-24-A101  
日本結核病学会 認定制度審議会 宛  
TEL 03-6721-9983

特定記録やレターパックなど記録の残る方法で送られますようお願いいたします。  
また、申請書類は返却致しませんのでご了承願います。

単位取得の対象となる項目	単位数
(1) 結核・抗酸菌症生涯教育セミナー 出席者	30
(2) 本学会の主催する学術講演会 出席者	20
(3) 本学会の主催する支部学会 出席者 北海道支部結核談話会，中国四国支部研究会 出席者	5
(4) 審議会が指定する結核・抗酸菌症に関連したプログラム(結核講習会) ①日本呼吸器学会，日本感染症学会等の学術講演会時の本学会との共同企画 ②その他の単位数は審議会で決定する	20
(5) 結核予防会 指導者養成研修コース(15日間)	80
結核予防会 医師・臨床コース(3日間)	40
結核予防会 結核対策総合コース(10日間)	50
結核予防会 医師・対策コース(5日間)	40

※上記(1)および(4)の講師も単位取得できるものとする

日本結核病学会 **結核・抗酸菌症 指導医** 資格申請手続き

◇受付期間：2018年5月1日～2018年9月30日（消印有効）

◇応募資格

- 1) 会員歴：申請時まで継続して5年以上（2014年2月以前に入会）
- 2) 認定医歴2年以上の医師（認定医番号121001～161999）
- 3) 過去5年以内に、審議会が指定したセミナー等に参加し、所定単位80点を取得した者。ただし、生涯教育セミナーについては認定医に認定された後に受講したものを単位として認める。
- 4) 学会誌「結核」に、結核・抗酸菌症に関する論文（原著・総説・症例報告等）、または日本結核病学会（総会・支部会）における発表を3篇（題）以上（うち1篇は筆頭著者（演者）とする）
- 5) 次のいずれかを満たす者
  - ①結核・抗酸菌症10症例以上を診療し、所属施設長が承認した者
  - ②ICDの資格を持ち結核院内感染対策に従事し、所属施設長が承認した者
  - ③保健所（保健所に準ずる行政機関等を含む）勤務歴3年以上、かつ結核等感染症対策に関与している者

◇提出書類

- 1) 「指導医新規申請書」（本人印を捺印）
- 2) 「医師免許証」のコピー
- 3) 「単位取得証明書」（2014年3月1日以降の単位が有効）
  - ・所定単位数：指導医80点
  - ・所定単位のうち、対象項目(1)、または(5)の認定制度審議委員会指定プログラム、いずれかの出席が必須となっています
- 4) 「結核・抗酸菌症に関する論文または学会発表」とそのコピー
- 5) 次のいずれかの書類
  - ①「結核・抗酸菌症診療実績証明書」、「症例申告用紙」
  - ②「結核院内感染対策従事証明書」、「ICD認定証」のコピー
  - ③「3年以上の保健所勤務歴を証明できる書類」
- 6) 申請料（10,000円）：振込受領書のコピーを添付（本人名義でお振込み下さい）
  - ・郵便振替：00180-0-608172 一般社団法人日本結核病学会
  - ・銀行口座：三井住友銀行 小石川支店 普通 3704607 日本結核病学会認定制度  
「ニホンケツカクビヨウガツカイ」（すべて大文字）

◇送付先

〒108-0074 東京都港区高輪4-11-24-A101  
 日本結核病学会 認定制度審議委員会 宛  
 TEL 03-6721-9983

特定記録やレターパックなど記録の残る方法で送られますようお願いいたします。  
 また、申請書類は返却致しませんのでご了承願います。

単位取得の対象となる項目	単位数
(1) 結核・抗酸菌症生涯教育セミナー 出席者	30
(2) 本学会の主催する学術講演会 出席者	20
(3) 本学会の主催する支部学会 出席者 北海道支部結核談話会、中国四国支部研究会 出席者	5
(4) 審議会が指定する結核・抗酸菌症に関連したプログラム（結核講習会等） ①日本呼吸器学会、日本感染症学会等の学術講演会時の本学会との共同企画 ②その他の単位数は審議会で決定する	20
(5) 結核予防会 指導者養成研修コース（15日間）	80
結核予防会 医師・臨床コース（3日間）	40
結核予防会 結核対策総合コース（10日間）	50
結核予防会 医師・対策コース（5日間）	40

※上記(1)および(4)の講師も単位取得できるものとする

結核・抗酸菌症 認定医 新規申請書

会員番号： \_\_\_\_\_ (学会誌宛名ラベルに記載あり)

申請者氏名： \_\_\_\_\_ 印

フリガナ \_\_\_\_\_

ヘボン式ローマ字 \_\_\_\_\_

勤務先名 (所属施設, 部, 科) :

連絡先住所 (勤務先・自宅) : どちらか○で囲んで下さい

〒 \_\_\_\_\_

E-mail :

TEL : \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

医師免許取得日 : \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 (医師免許証のコピーを添付)

所定単位合計 : \_\_\_\_\_ 点 (単位取得証明書)

申請料 (10,000円) 振込日 : \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 (振込受領書のコピーを添付)  
(郵便局・銀行) どちらか○で囲んで下さい

結核・抗酸菌症 指導医 新規申請書

認定医番号： \_\_\_\_\_

会員番号： \_\_\_\_\_  
(学会誌宛名ラベルに記載あり)

入会日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

申請者氏名： \_\_\_\_\_ 印

フリガナ \_\_\_\_\_

ヘボン式ローマ字 \_\_\_\_\_

勤務先名 (所属施設, 部, 科) :

連絡先住所 (勤務先・自宅) : どちらか○で囲んで下さい

〒 \_\_\_\_\_

E-mail:

TEL : \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

所定単位合計 : \_\_\_\_\_ 点 (単位取得証明書)

申請料 (10,000円) 振込日 : \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 (振込受領書のコピーを添付)  
(郵便局・銀行) どちらか○で囲んで下さい

## 単位取得証明書

(参加証のコピーを裏面に貼付のこと)

(1) 結核・抗酸菌症生涯教育セミナー出席 (30点)

生涯教育セミナー名	学術講演会	点数
	第 回	

(2) 本学会の主催する学術講演会 出席 (20点)

(3) 本学会の主催する支部学会 出席 (5点)

(4) ①日本呼吸器学会, 日本感染症学会等の学術講演会時の本学会との共同企画 (20点)

(4) ②その他

学術講演会, 指定の講習会名	開催日	点数

(5) 結核予防会医学科コース

講習会名	開催日	点数

合計 \_\_\_\_\_ 点

## 結核・抗酸菌症に関する論文または学会発表

「結核」誌に、結核・抗酸菌症に関する論文（原著・総説・症例報告等）、または日本結核病学会（総会・支部学会）における発表をあわせて3篇（題）（うち1篇（題）は筆頭著者（または演者））。

論文であれば論文表題、著者名、掲載誌名の記載されている頁のコピー、学会発表であれば学術プログラムの表紙と抄録のコピーを添付すること。

### 論文

1)

2)

3)

### 学会発表

1)

2)

3)

※ 論文と学会発表の合計が3篇（題）あればよい。論文のみ、発表のみでも可。

論文は学会誌「結核」掲載のみを対象とする。

発表は日本結核病学会が他学会と合同開催している地方会の演題も可。

ただし結核・抗酸菌症に関するものに限る。

## 結核・抗酸菌症診療実績証明書

所属施設名

申請者氏名

上記のものは、結核・抗酸菌症診療に従事しており、別紙日本結核病学会指導医申請用症例申告用紙のとおり10症例以上の診療実績があることを証明する。

所属施設名

所属施設長名と公印

公印

※指導医応募資格5)の②または③を申請するものは提出不要。

②は「ICD認定証のコピー」及び「結核院内感染対策従事証明書」を、③は「3年以上の保健所勤務歴を証明できる書類」を添付のこと。



別紙 日本結核病学会指導医申請用 症例申告用紙

申請者氏名

症例番号	年齢	1 肺結核 (病型) 2 肺外結核 (部位) 3 非結核性抗酸菌症 (菌種) 番号および ( ) に記入する。 潜在性結核感染症は含まない。 組み合わせ例数は任意。	診療年 またがる場合は○～○年と記載。 ○年と記載。	1 入院 2 外来のみ 3 入院+外来 番号を記入。	治療内容 (抗結核薬・抗菌薬は略号可) 例 4HREZ+2HR	症例の特徴 (診断, 耐性菌, 副作用, DOTSの工夫, 合併症, など)とその対応について 1項目でもよい。要点を簡潔に記載する。個人を特定し得る情報は除くこと。
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

\*結核性胸膜炎, 粟粒結核, 肺門・縦隔リンパ節結核は「肺外結核」に分類してください。

## 結核院内感染対策従事証明書

所属施設名

申請者氏名

上記のものは、認定ICDとして当院における結核院内感染対策に従事していることを証明する。

所属施設名

所属施設長名と公印

公印

※「ICD認定証のコピー」を添付のこと。  
指導医応募資格5)の①または③を申請するものは提出不要。